

# 図面の描き方 習得セミナー

## 機械製図の基本ルールとうまく描くコツを身につける

### 会期・会場

各回とも  
10:00~17:00

開催地	会期	会場
東京	2026年 5月22日(金)	日本能率協会 研修室 (東京都・港区・芝公園) or オンライン配信
	2026年 9月 9日(水)	

### 講師

西村 仁 ジン・コンサルティング 代表 生産技術コンサルタント

### 対象

- 開発、設計、製造部門の技術者
- 文系出身の設計アシスタント
- 図面の描き方がわからない、学び直したい、製図のスキルを身につけたい方々

### 本セミナーのポイント

図面を描く作業は「設計」と「製図」にわかれます。設計は機械工学などの専門知識を駆使しながら新たに考え出す作業で、この設計で決定した情報を図面に表す作業が製図です。製図作業では、「JIS製図規格の知識」と「正しく効率よく描く製図技能」が必要になります。CADを使う昨今では設計の計画図作成は技術者が担当し、製図の組立図と部品図作成は女性アシスタントが担当する体制が多くみられます。

本セミナーでは製図に焦点をあて、「JIS製図規格」と「図面を描くコツ」をわかりやすく解説します。もう一度基礎を学び直したい技術者の方々や、これまで図面を学習したことのない文系出身や女性アシスタントの方々の参加をお待ちしています。

### 本セミナーの特徴

- 1) はじめて製図をおこなう方にも、JIS製図規格を基礎からわかりやすく解説します。
- 2) 形を表す第三角法の習得では、立体モデルを手にしながら演習を踏まえて理解を深めます。
- 3) 寸法を記入する際に大切な「基準の考え方」は事例を踏まえながら紹介します。

### プログラム

10:00~17:00 (昼休憩 12:00~13:00)

#### 1 図面を描くことの意味

- ① 図面の果たす3つの役割
- ② 国家規格のJIS規格と社内規格

#### 2 図面用紙の構成

- ① 設計用図面 (計画図) と製作用図面 (組立図と部品図)
- ② 図面用紙のサイズと尺度の決め方

#### 3 立体図を図面に表す方法

- ① 立体モデルを手にしながら第三角法を学ぶ
- ② 図面用紙には正面図から描きはじめる
- ③ 実際に描いてみよう **個人演習**
- ④ 内部を表す断面図

#### 4 寸法記入のルール

- ① 寸法線と寸法補助線の引き方
- ② 役立つ寸法補助記号
- ③ 加工方法を指示するきり穴

鉛筆、消しゴム  
モノサンを  
ご持参ください

#### 5 寸法公差とはめあい公差

- ① 公差はなぜ必要なのか
- ② 数値で表す寸法公差
- ③ 公差を記入しない普通公差
- ④ 記号で表すはめあい公差

#### 6 寸法記入の実際

- ① 寸法を記入してみよう
- ② 大切な基準の取り方

#### 7 形に対して指示する幾何公差

- ① なぜ幾何公差は必要なのか
- ② 平面度と平行度の違い

#### 8 表面粗さ (表面性状)

- ① なぜ表面粗さの指示が必要なのか
- ② 寸法公差と表面粗さの関係

#### 9 質疑応答・まとめ



「図面の描き方がやさしくわかる本」  
※書籍代はセミナー参加料に含まれます

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

# 図面の描き方習得セミナー

## 講師紹介 (敬称略)

**西村 仁** ジン・コンサルティング 代表  
生産技術コンサルタント

(株)村田製作所の生産技術部門で21年間、電子部品組立装置や測定装置等の新規設備開発を担当し、村田製作所グループ全社への導入設備多数。工程設計、工程改善、社内技能講師にも従事。特許多数保有。  
2007年に独立し、製造業およびサービス業での現場改善による生産性向上支援、及び技術セミナー講師として教育支援を行う。  
経済産業省プロジェクトメンバー、中小企業庁評価委員等歴任。  
立命館大学大学院経営管理研究科(ビジネススクール)非常勤講師。

## 【著書】

- 「図面の読み方がやさしくわかる本」(日本能率協会マネジメントセンター、2010年、日本図書館協会選定図書)
- 「図面の描き方がやさしくわかる本」(日本能率協会マネジメントセンター、2011年)
- 「加工材料の知識がやさしくわかる本」(日本能率協会マネジメントセンター、2013年)
- 「機械加工の知識がやさしくわかる本」(日本能率協会マネジメントセンター、2016年)
- 「機械設計の知識がやさしくわかる本」(日本能率協会マネジメントセンター、2019年)
- 「基本からよくわかる品質管理と品質改善のしくみ」(日本実業出版社、2015年)
- 「はじめての治具設計」(日刊工業新聞社、2019年) ※上記7冊は台湾で翻訳出版
- 「はじめての現場改善」(日刊工業新聞社、2021年)
- 「1冊で学ぶ 材料・加工・図面の初歩」(日経BP、2022年)

## お申し込みについて

定員になり次第、申込受付を終了します。お早めにお申し込みください。

1



パソコン(各種検索サイト)からダイレクトで

セミナーID(半角数字) **JMA 100296** で検索

もしくは、<https://school.jma.or.jp/>

※貴社の情報セキュリティ方針等でwebからのお申し込みが難しい方は  
JMAマネジメントスクールまでお電話にてお問い合わせください。

TEL : 03(3434)6271

2



スマートフォン  
タブレットから



## 参加料 (消費税込)

一般社団法人日本能率協会法人会員	62,150円/1名
上記会員外	73,150円/1名

- ※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
- ※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください。)
- ※本事業開催最終日の消費税率を適用させていただきます。
- ※法人会員ご入会の有無につきましては、下記HPにてご確認ください。  
<https://www.jma.or.jp/membership/>
- ※参加申込規定はJMAマネジメントスクールのWebページ(<https://school.jma.or.jp/>)に掲載しておりますのでご確認ください。

**会場案内** 会場地図は、参加証送付時にご案内いたします。

**参加定員** 40名(10名に満たない場合は、中止または延期することがあります。)(開催地域により、定員が異なる場合がございます。)

**申込に関するお問い合わせ先 (参加証・請求書・キャンセル・変更などに関する内容)**

JMAマネジメントスクール TEL : 03(3434)6271

電話受付時間 月~金曜日9:00~17:00 ただし祝日を除く

E-mail : [seminar@jma.or.jp](mailto:seminar@jma.or.jp) FAX : 03(3434)5505

## キャンセル・参加日程変更の規定

キャンセルのご連絡日	キャンセル料	日程変更手数料 *2026年4月1日~2027年3月31日 期間の開催一回限り変更受付
開催15日前~開催8日前 (開催当日を含まず)	参加料の10%	無料
開催7日前~前々日 (開催当日を含まず)	参加料の30%	通い : 5,500円(税込)
開催日 前日	参加料の全額	通い : 7,700円(税込)
開催日 当日	参加料の全額	*日程変更は受付しておりません。 参加料の全額を申し受けます。

※日程変更手数料は、消費税を含みます。

無断でご欠席された場合も参加料の100%を申し受けます。

参加日程の変更については、1回に限り可能といたします(但し、2026年4月1日~2027年3月31日会期に限る)。

開催7日前より、日程変更手数料が発生いたしますのでご注意ください。

なお、開催当日の日程変更は受付しておりません。

※一部のセミナーにおいて上記規定と異なる場合がございますので、ご確認のうえお手続きをお取りいただきますようお願い申し上げます。

## プログラム内容に関するお問い合わせ先 (企画担当)

一般社団法人日本能率協会 経営・人材革新センター

東京 〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22

TEL : 03(3434)1955(直通)

## モノづくり技術基礎セミナー ラインナップ

### 【基礎セミナーの狙いと対象】

\*モノづくりに必要な基礎知識を習得するセミナーを紹介します。ひとつは、部門を問わず必要な「共通基礎知識セミナー」です。企画部門から販売を担当する営業部門までの全部門が対象になります。もうひとつは設計に関連する知識で「専門基礎知識セミナー」です。

\*対象は、基礎知識を習得したい新入社員、若手社員、中途入社社員、一度学んだことがあるがもう一度学び直したい方、また部下や後輩の指導をおこなう方々です。専門用語はできるだけ避けてやさしく解説をおこないますので、これまで学ぶ機会がなかった文系出身者や女性アシスタントも方も安心してご参加ください。

業務プロセス	企画	構想	設計	資材・購買	部品加工	組立・調整	検査	販売	ポイント
共通基礎知識 (全部門対象)	① 図面の読み方「再」入門セミナー								図面は企画から販売に至るまでのモノづくり情報を伝える大切な手段です。この図面を見て形をイメージする手順と図面に示された各種情報の読み方を、演習を踏まえて習得します。 材料の頑丈さや軽さといった特性と、熱を加えることで特性を変える熱処理の基礎知識を習得します。また、モノづくり現場で使用する治具や生産設備の材料選定の事例を紹介します。板や丸棒といった市販形状から、いかに正確に安く加工するのかを、さまざまな加工法ごとにその特徴を解説します。また加工法を意識して描かれた図面の読み方も紹介します。 モノづくりの三大知識となる「図面の読み方」「材料知識」「加工知識」の3テーマをそれぞれ関連付けながら解説する3日間集中コースです。 品質は設計品質と製造品質に分れます。本セミナーはモノづくり現場が担当する製造品質についての理解を深めると同時に、品質不良をなくするための改善取組みの手法を事例を踏まえて解説します。
	② 加工材料基本知識習得セミナー								
	③ 機械加工の基礎知識セミナー								
	④ 新任担当者のためのモノづくり技術入門セミナー(3日間コース・単独受講可)								
専門基礎知識 (設計関連)	⑤ 品質管理・改善基礎セミナー								JIS製図規格の中から実務でよく使われている規格に焦点を当てて解説するとともに、図面を正確にはやく描くコツを紹介します。 はじめて機械設計をおこなう方若手設計者を対象に、自動化レベルの考え方ははじまり、メカ機構や締結部品、アクチュエータ(駆動源)、そしてコストダウン設計の基礎知識を学ぶ2日間コースです。 加工・組立・調整・検査で活用する治具において重要な位置決め方法と固定方法を、具体的な事例を用いて解説します。また治具を用いるうえで大切な作業性を演習により習得します。 開発設計現場では、効率化スピード・コストが優先で求められてきた結果、不具合の根本原因の追究と対策、技術の深堀りなどにあまり時間がかけられず、類似した問題を繰り返し発生させてしまい、技術力や生産性が低下してしまっています。設計品質のつくり込み方を学びどのように成果につなげれば、品質を差別化するにはどうするかについても、一緒に考えていきます。
	⑥ 図面の描き方習得セミナー								
	⑦ 機械設計ベーシックセミナー (2日間コース)								
	⑧ 治具設計ベーシックセミナー								
	⑨ 設計品質向上基礎セミナー								